

質の高い検査と治療で 不安を抱える患者さんを 支えたい



各診療科から依頼を受け、診療に必要な画像の撮影・提供や、放射線治療などを行うのが放射線技術部。患者さんがより良い診療を受けられるよう、高い専門知識と技術をベースに、多種多様な検査や治療に従事しています。

放射線技術部は、各診療科の医師や看護師などと協働しながら、さまざまな検査や治療を行う部門です。病気や治療のほか、放射線を使った検査・治療に対しても不安や疑問を抱えている患者さんやご家族に、少しでも安心して検査・治療を受けていただけるよう、技術はもちろん接遇の面でも質の高い医療を提供することを心がけています。



現在、放射線技術部には50名以上の診療放射線技師がおり、放射線医療センターの画像診断部や、放射線治療部、IVR診療部、核医学・PET診療部等で検査などを担当しています。



高度な画像処理を行うことで、より鮮明で見やすい画像を作ります。

CTで撮影した画像から、診断や手術に役立つ3D画像の作成も行っています。



放射線治療室では、患者さんに少しでもリラックスしていただけるよう努めています。

がんの放射線治療では、CT画像をもとにした治療計画の作成にも携わります。



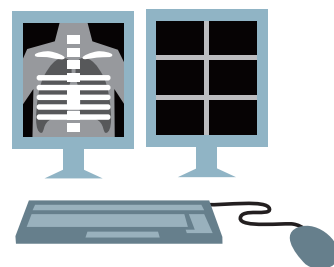
1年を通して大学の実習生を受け入れるなど、後進の育成にも力を入れています。



部内の勉強会は、開院間もない頃から約50年もの間、毎週続けています！

常に最先端の知識と技術を身につけるため、勉強会や研究会にも積極的に参加しています。

日々進歩する放射線技術に対応し 医療の質や安全性を向上させるために 精進しています



放射線技術は、日々進歩し、高度化しています。放射線技術部では、医療の質や安全性の向上のため、新しい機器への更新を行うとともに、スタッフがすべての機器を扱い、多くの診療科の幅広いオーダーに的確に応えることができるよう取り組んでいます。

専門技師や認定技師の養成にも積極的に取り組んでいます

<取得している資格・認定など>

- 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- 救急撮影認定技師
- 磁気共鳴(MR)専門技術者
- 上級磁気共鳴(MR)専門技術者
- 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
- 肺がんCT検診認定技師
- X線CT認定技師
- 核医学専門技師
- 放射線治療専門放射線技師
- 放射線治療品質管理士
- 医学物理士
- 胃がん検診専門技師
- 胃がんX線検診読影部門B資格
- 臨床実習指導教員
- 臨床実習指導者
- AI認定診療放射線技師
- 放射線管理士
- 放射線機器管理士
- 医療画像情報精度管理士
- 画像等手術支援認定診療放射線技師
- 作業環境測定士(第1種)
- 衛生工学衛生管理者
- 日本DMAT
- 第1種放射線取扱主任者
- 第2種放射線取扱主任者

(2022年12月1日現在)

検査には、患者さんやご家族の信頼と協力が大切
不安や疑問があれば、気軽に声をかけてください

診断に役立つ質の高い画像を撮影するには、ただ高度な検査機器を扱えればよいというわけではありません。放射線技師が装置の特性を生かす技術や幅広い知識を身につけているのはもちろんのこと、患者さんやご家族に信頼していただくことが大切だと考えています。私たちが患者さんと接するのはとても短い時間ですが、不安を抱えた患者さんお一人お一人としっかりと向き合えるように努めていますので、不安や疑問があれば、気軽に声をかけていただき、安心して検査・治療を受けていただければと思います。

放射線技術部 部長 ことら のりこ 琴浦 規子